

厚生労働科学研究（厚生労働科学特別研究事業）

健康寿命の国内と海外の現状把握と分析評価に関する研究班主催

健康寿命国際ワークショップ 総合健康指標の国際協調に向けて

International Workshop on Health Expectancy: Harmonizing Summary Measures of Population Health



日時 平成26年10月14日（火）13:30~17:00

会場 日本大学桜門会館

（JR市ヶ谷駅から徒歩2分 東京都千代田区五番町2-6 <http://goo.gl/maps/P4DQX>）

参加費：無料 対象：研究者・行政関係者・その他健康寿命に関心のある方

使用言語：日本語及び英語（逐次通訳あり）

内容（演題名は仮題）

コーディネーター 齋藤安彦（日本大学）

日本の健康増進政策における健康寿命の重要性

江副聡（厚生労働省健康局がん対策・健康増進課）

国際保健外交戦略・日本再興戦略における健康寿命の意義

小沼士郎（内閣官房健康・医療戦略推進本部）

国際健康寿命ネットワーク（REVES）の取組

Jean-Marie Robine（フランス国立衛生医学研究所）

健康・平均寿命情報システムに関する欧州共同事業（JA EHLEIS）の取組

Herman Van Oyen（ベルギー公衆衛生研究所）

Washington Groupによる健康指標開発の取組

Mitchell Loeb（アメリカ保健統計センター）

日本における健康寿命研究

尾島俊之（浜松医科大学健康社会医学講座）

情報交換会 17:30~19:30（会費 5000円程度）

学術ワークショップ

日時 平成26年10月15日（水）9:00~17:00

会場 日本大学桜門会館 参加費：無料 対象：研究者など 使用言語：英語

内容（詳細はホームページに記載）

新しい総合健康指標や分析方法、健康寿命の国際比較性の向上など

参加申込 原則として、ホームページから事前の参加申込をお願いします

詳細：ホームページ <http://toukei.umin.jp/workshop1014/>

問い合わせ workshop1014@gmail.com 世話人 齋藤安彦、尾島俊之

